

# 舟橋構成員資料

# 「新しいラジオ」のイメージを 端末から考える

## メタデータ

著者 株式会社トマデジ 舟橋洋介  
作成日 2010年2月25日  
版数 2

## 検討の前提

- 第一回研究会の要旨を前提とする。
1. 音声メディアとしての強みと文化を活かす。
  2. 普及と成長が望める新しい仕組みを考える。
  3. 放送と通信の境界、制度、技術等の制約を一旦忘れて、自由に考える。

## 問題意識： 聴取端末をどう増やすか？

- 検討の要旨
1. 新しい規格の受信端末を0台から普及させるのは並大抵ではない。  
一つの端末で複数の無線通信方式に対応していること。
    - 3G
    - ワンセグ
    - Wi-Fi
    - Bluetooth
    - etc.
  2. 昨今、受信端末はハイブリッドである  
ハイブリッドとは？  
例えば？ スマートフォン
  3. では、「新しいラジオ」は、独立した端末としてではなく、ハイブリッドになって強みを発揮するように初めから考えておくのはどうだろうか？ そうするとラジオ専用端末としてだけではなく、「相乗り」端末による普及の促進が望めるのではないかと？  
「相乗り」のイメージは？  
ワンセグ専用「端末」は存在せず、ワンセグ受信「機能」がいろいろな端末に搭載されている。
    - 携帯電話
    - カーナビ
    - DVDプレーヤ
    - ゲーム機
    - ノートPC
    - etc.
  4. 例えば、ファイル放送とその蓄積機能の共有。  
「新しいラジオ」の帯域で伝送したファイルを端末内の他の機能から使うことができる。  
他の機能って？
    - 3G
    - ワンセグ
    - Wi-Fi
    - etc.
- まとめ
- 「相乗り」推進により普及を促進する。
  - 「相乗り」により共有するのはファイル放送と蓄積機能とする。
  - 「新しいラジオ」の事業者は、「相乗り」端末の事業者からの依頼によって、種々のファイルを放送することも事業の一環とする。

## アイデアを展開： ハイブリッドの例、及びその上でのアプリケーションの例

- 電子ブックリーダー+「新しいラジオ」
- 特徴 音声メディアと電子インクの組み合わせは省電力でありエコ。  
放送を利用した電子出版が可能。
  - アプリケーション例
    - 「新しい防災ラジオ」
    - 電子新聞
    - 電子雑誌
    - 電子教科書
- IPTV+「新しいラジオ」
- 特徴 地デジで伝送できないファイルを放送で伝送可能。  
IPTVの通信機能をファイル放送によって補充。
  - アプリケーション例 多数の視聴者への映像番組ファイルの同報と販売。